

Zun 寸 dō 胴

附属図書館ホームページ URL : <http://www.gifu-u.ac.jp/~gulib/>

寸胴は、焼物を形成する際の途中の形で、円筒形の状態のもの。陶器が作られる際に親型となる焼物の原点であると言われている。附属図書館ロビーに、この寸胴が陶器へと成長するさまをモチーフにした「寸胴譜」と名付けられた大きな陶壁画があり、誌名の「寸胴」もこれに因る。

目次

寸胴に寄せて 黒木 登志夫 1
館長対談 2

館蔵資料紹介
明治文学 というコスモス 林 正子 4
平成14年度図書館統計 6

寸 胴 に 寄 せ て

学長 黒 木 登 志 夫



昔から、陶芸作品は見るのも買うのも好きだった。東大を定年になったとき、思い切って自分でも瀬戸物なるものを作ってみようと思い、原宿の日本陶芸倶楽部で手ほどきを受けた。まさに60の手習いである。最初は手びねりで粘土に慣れ、1年ほどするとろくろのコースに入る。勢いをつけて回っている柔らかい粘土は、ちょっと油断をすると、形が崩れてしまう。形ができれば、次は外側を削って形を整え、素焼きし(700度)、更に絵付け、釉がけをしたあとに1250度で焼いて出来あがりとなる。手間がかかる上、すべてがカンと、コツと、経験の世界である。遺伝子を分析し、コンピュータと向



かい合うようなハイテクの毎日を送っていると、何世紀の間基本的にはほとんど変わっていないローテクは、何よりも心の安らぎとなった。

岐阜に来たとき本場で陶芸を勉強できると思った。しかし、陶芸が盛んな東濃と違い、岐阜では教えてもらえる所をまだ探せないでいる。それでも、家の一間にろくろを備え自己流でまわし、知人の陶芸家に焼いてもらっている。

大学改革、法人化など、ストレスの種は尽きない毎日のなかで、スキー、山と並んで、陶芸は私のストレス解消の役に立ってくれている。今回、私の拙い作品を載せていただき、ありがたくもあり、一方では恥ずかしいという思いもある。

サカナの模様の作品は、まだ乾いてないお皿に白い粘土を薄く引き(白化粧)、その上に更に黒い粘土(黒化粧)をサカナの形に重ね、黒粘土を削って模様を浮き出させたものである。釉薬は透明釉。

ねじれ模様の作品は、DNAの二重らせんを模したものである。ろくろで作ったあと形を楕円形に歪め、櫛の歯で二重らせんを掘った。全体に黄瀬戸釉をかけた。織部釉で二重らせんを緑色に染め、コントラストをつけた。黄瀬戸と織部の組み合わせはいうまでもなく、美濃の伝統的な配色である。今年は折しも、WatsonとCrickがDNA二重らせんを発表してから50年という記念すべき年に当たる。土はいずれも美濃の五斗時。



館 長 対 談

附属図書館の増改築を進めるにあたり、現在地に岐阜大学が統合され、図書館が新設される頃の館長にお話を伺う貴重な機会がありました。

日時：平成 15 年 1 月 29 日(水) 14 : 00 - 17 : 00

場所：附属図書館長室

出席者：松井辰彌先生 (第 15 代館長 1968 . 11 . 1 - 1971 . 10 . 31)、平林芳夫先生 (第 19 代館長 1980 . 11 . 1 - 1983 . 10 . 31)、正村静子現館長 (2002 . 11 . 1 -)

正村館長

先生方お待ちしております。



(現在の統合地の思い出)

平林先生

図書館が建っているところは、地盤が悪いところですよ。私たちの背丈よりも高い葦があり、ここは池でした。

松井先生

伊勢湾台風 (昭和 34 年 9 月 26 日) の時は、2メートルも水につかりました。

平林先生

ここを埋立てするとき、海拔 10 . 何mでしたか。伊自良川が決壊したとき、それよりも高く水がつかしました。地元との交渉で、土地を高く出来ないから、建物で高くし、1階の天井下にライフラインを通してあります。工学部や農学部が床がこの前の浸水した高さです。

正村館長

ここを盛り土した分、周りへ沢山水がいくのですね。

平林先生

地元の人と話 (埋め立ての話) をしたとき、海拔で、15 . 幾つとか、僕ら面倒だから小数点2桁四捨五入しましょうと言うと、先生は工学部の教授でしょう。小数点2桁だと、1cmで52万m²にすると、5200トンのもらい水となりますと言われて、えらい恥をかきました。大学の海拔が15.6mで、平坦な敷地に川を流して池を作り、その土を教育学部の前に積みました。

(岐阜大学統合の頃の話)



松井先生

ここは統合地としては、順位は後でした。林金雄先生 (第 5 代学長 1973 . 6 . 1 - 1977 . 5 . 31) が、農学部長の時、2人で農協の2階で、地権者と統

合の話し合いをしたことがあり、そのときに、統合地として浮かんできた最初です。その元は教育学部の郷先生が教育学部長に話をしたのです。各務原も候補地でしたが、医学部が反対をしました。理由として、愛知県に近すぎることでした。

工学部、農学部は、面積が足りない、教育学部は、あの長良地区に執着していました。長良に移るには地価が高い、基本構想は、各務原の土地を売って、土地の安いところに移るということでした。統合候補地として、ひるが野がありましたが、今西先生がお見えになったときには、評議会で反対になっていました。

平林先生

とにかく、岐阜市は、教育学部、医学部が岐阜市にあり、岐阜市でなければならないという意味で反対でした。教育と教養も反対していた。

松井先生

特に教育学部は明治以来 100 年以上岐阜市のお世話になり、岐阜市以外のところに移転することは反対でした。教育学部の土地を払い下げるときに、桜並木を切ったことで、その当時、岐阜大学は何をしてんだ、という非難がありました。統合は 40 年、50 年先を考えて計画しなければならないのに、そこまで考える先生は少ない。自分の定年までのことしか考えていない。

(附属図書館の建設計画について)

正村館長

平林先生は、移転の時期、工学部のことと図書館のことを同時に処理なさったのです。

平林先生

工学部の委員長をやり、図書館長もやり、図書館の設計をやって工学部を建てるのと図書館を建てるのが一緒だった。工学部引越しの次の年に図書館を引越し、大変だった。でも、皆さんがよくやってくれました。開館式の写真の中に面白い物があるかも知れませんよ。図書館は設計の段階が大変で、文部省が通ってなかった。谷村館長と今井事務長で、附属図書館の概念図が作ってあったので、これを工事事務所に持って行ったが、再度作ってくるように言われました。松井先生の館長の前から、(館長の任期を) 2 年から 3 年にして、文部省からの受けが良かったこともあり、3ヶ月位、先生方の意見を聞き施設で設計し、文部省の大学図書館課へ計画を持って行きましたが、問題はありませんでした。

松井先生

今西先生が、モスクワ大学の 20 階建ての建物を見学

された時の感想や、蒙古の草原を歩いた時、草原の彼方にパオがあって、今晚はここで休めるかなと安堵感を感じたように岐阜大学の建物も若者が遠くから見て、岐阜大学で勉強したいという気持ちを起こすものであってほしいと、その中でも図書館が岐阜大学のシンボルになるような希望がありました。それで図書館だけがこのような色（茶褐色）で、各学部は白になっているのですね。

平林先生

図書館の設計（玄関の位置）では、特に苦労した。

玄関が工学部、農学部に向き、特に教育学部から東に回るのは不便だから、西に玄関を作るよう話があったが、（施設部からは）通り抜けの構造には出来ないとされた。それで、図書の搬入搬出のために、北側に自動車の進入路をつくり、入口を設けた。図書館というものは、地震等も想定した床加重の関係で設計がむずかしい。耐震壁が、至るところに設けられている。

あの頃は、お金がありました。書架、机の入札をやってもお金が余り、使うのに苦労しました。開架式書架にスペースがなくなるからと、1900何年から書庫に入れますと提案すると文系はそうはいかない、明治初期と今の徒然草の解釈は古いから悪いとはいえないと当時の永平分館長に怒られたことがありました。

大学の建物の配置について、将来電柱を立てない、エネルギーラインをつなぐ計画があり、当初の配置計画から変わりました。

松井先生

まず図書館と寄宿舎を建てる。大学の本質は学部で教官が講義することが二の次で学生自身が本を使って図書館で勉強する。そのような考え方があってあります。

（附属図書館の増築について）

正村館長

医学部分館は、本館に統合します。

平林先生

教育学部は、図書館が将来西へ延びて来るという考えがあって、ストップ出来るようにと道路をつけました。図書館は増築しても、道路より進出しませんということで道路までの権利を得ております。第2図書館は許可にならないのですか。

正村館長

1キャンパス1図書館で、別に分館を作る理由が受け入れられず、本館の狭隘化で本館を増築することもあり、増改築するということになっています。

平林先生

予算的に違わなかったら、本館の中に第2図書館があってもいいじゃないでしょうか。医学部の蔵書を、新しい書庫に書架で整理して入れなかったら、2つの図書

館があるのと同じなのだから、交渉の仕方でもうかにならないの。どれだけの面積を？

正村館長

約6000㎡増築の計画をたてています。

平林先生

地盤は西へ行くほど固いので、（教育学部へ通じる）道路までぎりぎり延ばし、増築部分を3階にこだわらず、6階建てにしたらどうか、床面積が半分になる。（備品図書、不要図書について）

平林先生

昔、楽譜が備品で、当時コピー機もなく、学生が切り離して音楽の練習に使うので困ったことがあった。工学部には、消耗備品というものもあった。不要図書の決定といっても、各研究室のハンドブックは新しい版が出たから利用価値なしでできるけど辞書はできなかった。

引越するとき、不要図書の調査を行い、リストを作り、判定ランクをつけ、チェックをするのに大変であった。

松井先生

日本は科学と技術の区別がなくなった。昔は科学・技術と言葉が区切られていたが今は科学技術という使い方となっている。

（外周道路について）

平林先生

外周道路に、昔は側溝があった。それに蓋をして、片側に斜め駐車スペースをつくり、外周道路を一方通行にするという案があった。それにより500台程の駐車スペースが確保できた。



昔の思い出とこれからの励ましを語られた後に、松井・平林両先生は、正村館長の案内で館内を見学された後、正面玄関の陶壁画の前で記念撮影をされ、図書館を後にされました。この日は夕刻から急な雪で松井先生が車で平林先生を岐阜駅まで送られるのに2時間余りもかかったと後でうかがいました。

館蔵資料紹介 No. 23

< 明治文学 > というコスモス

林 正 子



< 今、明治が面白い > という標語を、この四半世紀、数年の周期で見聞きしてきたように思う。ちくま文庫版の『明治の文学』や岩波書店の『新日本古典文学大系 明治編』などが刊行されて、明治文学の網羅的な出版ブームが話題を呼んだり、司馬遼太郎の『坂の上の雲』をはじめ、名だたる現代作家の明治ものを愛読する人も少なくない。また、世の中が不景気になると『漱石全集』が編まれるという、嘘のような本当の話題にも事欠かない。

このように書くと、私の専攻分野が日本近代文学なので、鼻屑の引き倒しになりかねないが、やはり現代人にとっての明治文学の魅力や存在意義については、どんなに強調しても高唱し過ぎることはないように思われる。

そこで、今回、岐阜大学附属図書館所蔵図書として紹介させていただきたいのが、『明治文学全集』（筑摩書房 1965～70）。明治という激動と変革の時代における政治・社会・思想・文化全般にわたる文学の粋が、体系的に編纂された一大コスモスである。

柳戸キャンパス図書館3階北側の〔文学〕コーナー開架書庫に、その全99巻 別巻1の100冊が並んでいる。渋めワインレッドの装丁は、落ち着いた、むしろ地味とも言えるものだが、設置された一角に立つと、明治人の叡智が醸成するオーラのようなものが漂ってくる（と感ぜられる）。



もっともこの全集はいわゆる稀覯本ではなくて、文学部国文学科/日本文学科などには100パーセント常設されていると言ってよい、日本近代文学を学ぶ者にとっての必須文献。日本史学や哲学・思想史の研究者にとっても、まちがいに重要文献である。その『明治文学全集』が、< 工学・医学中心の > という符丁がつけられることの多い岐阜大学にも、附属図書館にしっかり所蔵されているのが、私などにはとても嬉しく誇らしい。

* * * * *

担当させていただいている地域科学部1年生向け授業に、「文化基礎論」という必修科目がある。< 文明 > と < 文化 > の語義のちがいを確認したうえで、明治初年代から大正期までの文明評論を紹介し、近代日本の自己探究 近代化の時代、日本が日本をどのように認識してきたか の実相が、文明評論の諸編に具体的に投影されていることを考察するのが、この講義のねらいである。

福澤諭吉・田口鼎軒・田岡嶺雲・高山樗牛・姉崎嘲風・大隈重信・森鷗外・夏目漱石・中澤臨川・桑木嚴翼・金子筑水といった明治期のオピニオン・リーダーたち 今となってはあまり読まれなくなった人物も含まれているが、これらの評論家・作家たちの文章を引用して講義資料を作成している。この当時の文章は、現代の私たちにとってはかなり読みづらくなっているのが実情で、しかも授業では時間的に部分的・断片的な引用しかできないので、余力・関心に応じて、当該評論が収録されている『明治文学全集』の巻を読むことを、受講生にも推奨している。

『明治文学全集』の恩恵に浴する機会は、授業においてばかりではない。手前味噌で恐縮だが、昨年度の地域科学部企画の岐阜大学公開講座として、「近代日本の人物像 先人に学ぶ」を実施した。福澤諭吉・豊田佐吉・石橋湛山・河口慧海・夏目漱石・和辻哲郎・澤柳政太郎・土門拳の8人の人物像を8人の担当で開講したところ、予想を越える大好評をいただいた。

50名定員に対して66人の応募という受講者数は、特筆するほどではないかも知れないが、近代日本の先人たちの人生行路に照明を当てることで、当時の社会状況や精神文化を学び、現代の自分たちの生き方を考えさせられること大であった、というのが大方の受講者がアンケートに記して下さった感想。〈明治は遠くなりけり〉というのは、明治時代と現代との間に精神的な連続性や連関性を感じとっているからこそ生じる感慨なのではないか、と感じた次第である。

所定の手続きをすれば地元の方々にも大学図書館を利用していただけるので、公開講座の際にも、岐阜大学附属図書館所蔵の『明治文学全集』をアピールさせていただいた。

ちなみに、昨年度の評判に意を強くし、今年度も、「近代日本の人物像」(9月20日から10月11日までの4週の土曜日 13:00~16:50)の公開講座を予定している。中江兆民・伊澤修二・樋口一葉・野口英世・美濃部達吉・近藤康男・吉田茂・河上肇の8人が対象で、必ずしも明治期の人物ばかりではないが、また『明治文学全集』の何冊かを手にし、受講生の方々にもお薦めする機会がくるだろう。〈先人〉が生き、その思想と情感が息づいているコスモスの存在を、内緒にして独占するなんて、とてもできそうにない。

* * * * *

ところで、江戸時代の戯作文学から脱皮した明治文学については、資本主義の発展や知識階級の登場によって個人主義が勃興していった、近代という時代の反映としての特徴が挙げられるのが常である。評するに、〈自我の覚醒〉とか〈個性の尊重〉といったキー・ワードが用いられることも多い。『日本文学史[近代編]』といった類の専門書の解説には、西洋文学が自家薬籠中のものとされ、写実主義・浪漫主義・自然主義・反自然主義などの諸派が、百花繚乱の様相を呈して展開されてゆくという、〈明治文学〉を主人公とする〈大河ドラマ〉が記述されている。

明治期に文学の隆盛が導き出された要因のひとつは、雑誌・新聞を中心とするメディアの発達であり、文体としては言文一致が誕生、ジャンルとしては小説が普及、近代詩が発生し短歌・俳句にも革新運動が起こった、というのが、〈明治文学〉サクセス・ストーリーということになるだろうか。いずれにしても、それまでの体制や価値観の激変と変革の姿を映し出さずにはおかない明治文学は、標語どおり、本当に面白い(とってください)。



今年、生誕百年を迎えた明治生まれの作家、山本周五郎による講演の言葉が伝えられている。〈(関ヶ原の戦いがあった)慶長五年の何月何日に、大阪城で、ということがあったか、ということではなくて、そのときに、道修町の、ある商家の丁稚が、どういう悲しい思いをしたか(略)を探究するのが文学の仕事だ〉この〈文学の仕事〉の一端に関わりをもつ者として、言い得て妙だと感じ入るとともに、自分も〈悲しい思い〉の〈探究〉をめざしたいと素朴に願う。

だが同時に、文学研究/教育に携わる者としては、〈ということがあったか〉ということにも、とことんこだわってゆきたい。社会状況や時代精神を映し出す鏡としての文学の役割にも意識的であり、現象の歴史的背景や思想的要因に関する知識や分析を踏まえて、その文学の意義や価値を論じたいと希望するからである。

そんな自分のささやかな願望を反芻する時、明治文学の精華である『明治文学全集』全100巻は、いっそうの輝きを増し、私たちの生きるコスモスの可憐と無限を同時に感得させてくれる、それ自体がかけがえのないコスモスとなって現前する。そして、その意義を探究し、魅力を語らずにはいられない思いにさせてくれるのである。願わくは、あなたにとってもまた

「同じ名を帯びる秋桜^{コスモス} 大宇宙」(正子)

(はやし まさこ : 地域科学部教授)

平成14年度図書館統計

蔵書冊数 平成15年4月1日現在

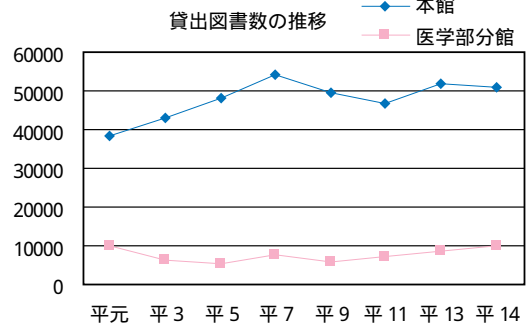
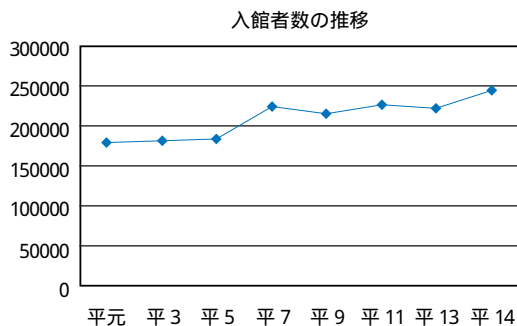
区分	和書	洋書	計
本館	537,250	220,831	758,081
医学部分館	63,356	77,854	141,210
計	600,606	298,685	899,291

雑誌種類数 平成15年4月1日現在

区分	和雑誌	洋雑誌	計
本館	8,957	4,241	13,198
医学部分館	1,308	1,905	3,213
計	10,265	6,146	16,411

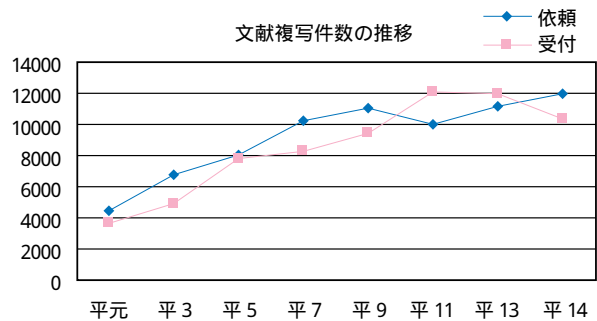
入館者数及び開館日数

区分	開館日数	入館者数			計
		教職員	学生	学外者	
本館	281	9,300	179,435	7,040	195,775
医学部分館	293	13,717	33,892	1,209	48,818
計		23,017	213,327	8,249	244,593



貸出冊数

区分	教職員	学生	学外者	計
本館	3,423	46,250	1,116	50,789
医学部分館	1,712	8,232		9,944
計	5,135	54,482	1,116	60,733



文献複写数 (図書館間相互協力)

区分	受付	依頼
本館	3,695	8,027
医学部分館	6,650	3,868
計	10,345	11,895

現物貸借 (図書館間相互協力)

区分	計	
	貸出	借用
本館	470	321
医学部分館	16	36
計	486	357

